



車内の金城学院大学

133限目

「生涯学習論」

「インクルーシブ教育って何？」

〔多様性と教育〕

インクルーシブとは「包み込む」という意味であり、その考え方を持った「インクルーシブ教育」が1994年に世界会議で提唱されました。その原則とは、人種、国籍、宗教、障がい、貧困などを理由に学びの場から子どもを排除しないとされており、すべての子どもたちが平等に教育を受ける権利を保障するものです。実は、世界各地の学校は多様性に満ちており、異なる言語や文化、障がいの有無、紛争や暴力によるトラウマなど、様々な事情を持つ子どもたちが集います。そのような子どもたちに対し、言葉だけではなく絵を使ったり、身体を動かしたりしながら、できる限り同じ場所で同じ学びを進めていくための工夫がなされています。近年では日本で暮らす外国人も急増し、日本の学校でも多様性が生まれつつあります。そのような中ですべての子どもたちに平等な教育を提供していくために、一層のインクルーシブ教育の推進が求められているのです。

子どもの多様性を尊重し、豊かな教育環境をつくる。それが人間科学部 現代子ども教育学科。

強く、優しく。



金城学院大学